

学校名	桶川市立加納中学校
所在地	桶川市加納 1 2 7 9
電話	0 4 8 - 7 2 8 - 3 0 6 1

## 1 本校の概要

J R 桶川駅より北北東に約 3 k m の所に位置し、田畑に囲まれ緑の多い、開校 2 6 年目（昭和 5 6 年開校）の学校である。市内（4 中学校）では、最も新しい中学校であるが、旧加納中学校があったため地元校としての意識は強い。平成 1 7 年度から「ひと・もの・こととのかかわり」をとおして、「心の教育」を研究主題に平成 1 9 年度そのまとめとしての本発表を行った。

## 2 本校の実践の概要

### （1）「朝の一斉読書」取組の背景

生徒の実態と新教育課程

- ・あわただしい雰囲気と落ち着かない学校生活
- ・読書離れと総合的な学習の時間の導入
- ・新教育課程に伴う学校教育目標の見直し
- ・職員の学校評価

国・県・市の読書活動の奨励

- ・「子どもの読書活動の推進に関する法律」
- ・彩の国五つのふれあい運動「本とのふれあい」
- ・学校図書館教育補助員の配置

### （2）「朝の一斉読書」実践の概要

平成 1 4 年度、「本に親しもう。落ち着いた学校生活をしよう。」を目的にはじめた朝の読書活動も今年で 6 年目を迎え定着した。この読書活動を取り入れたことで生徒は、一日の教育活動に「静」と「動」のリズムが生まれ、充実した学校生活を送られている。

読書時間

8:15 ~	職員打合せ
8:20 ~	生徒登校
8:25 ~ 8:35	朝読書（担任も教室で読書）
8:35	出席確認
8:45 ~	第 1 校時

本の種類

生徒各自が好きな本を用意する。但し、マンガ・雑誌・図鑑等は除く。

読書の記録

「読書記録カード」に記録する。

企画立案

国語科及び司書教諭が中心となり、生徒の読書指導の充実及び職員へ提案する。

図書室の充実と図書委員会の活動

学校図書館教育補助員と司書教諭により生徒が活用しやすい図書室経営を努めている。第 2 図書室の設置、書架の斜め配置、読書テーブルなど。また、生徒の委員会活動として図書室便りの発行、廊下に「私の推薦図書コーナー」の設置。



## 3 成果と今後の課題

- ・読書は豊かな心の育成、動と静のメリハリのあある学校生活に効果は大きい。
- ・小・中学生の本離れは、様々な調査で明らかであるが、そういった背景の中での本校の取組は、地味ではあるが成果は確実に上がっている。
- ・生徒の感想でも「朝読書を始めてから本が好きになった」「家でも本を読むようになった」「心が明るくなった気がする」「授業に集中できるようになった」などの声がある。教師からも時間を 2 0 分にしたいとの声が上がっている。
- ・「心の教育」と関連づけてさらに研究を進める必要がある。